議 事 録

1 概要

会議名		令和4年度 第3回児玉郡市障害者自立支援協議会 全体会議・運営会議・相談支援部会・就労支援部会
事務局		上里町
開催日時		令和5年 2月 6日(月) 10時0分～11時10分
開催場所		上里町役場 4階大会議室
出席者	委員	出席 15人 欠席 3人
	その他	運営会議長・相談部会長・就労部会長 3人 手話通訳者 2人
	事務局	9人 (美里町2人・本庄市3人・神川町2人・上里町2人)
配布資料 (事前配布)		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第3回児玉郡市障害者自立支援協議会次第 ・令和4年度児玉郡市障害者自立支援協議会資料(資料1～4、委員名簿) ・地域生活支援拠点等の整備にかかる基本方針について(案) ・ふくしまップ
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. あいさつ 3. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度活動報告及び令和5年度活動計画(案)について 〈資料1、2、3〉 (2) 地域生活支援拠点等の整備方針(案)について 〈資料4〉 (3) 2023ふくしまップについて 〈資料5〉 (4) その他 4. 閉会

2 審議経過

<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶</p> <p>3. 報告事項について</p> <p>①事務局(行政)</p> <p>②運営会議長</p> <p>③相談支援部長</p>	<p>1. 開会</p> <p>①資料確認</p> <p>②欠席者報告</p> <p>③会議成立の報告</p> <p>④委員交代について (上里町民生委員・児童委員協議会 障害者福祉部会長交代による委員交代)</p> <p>2. あいさつ(協議会長)</p> <p>①今回の資料は、活動状況及び事業評価が分かりやすく整理されていると感じた。</p> <p>②差別解消法が改正され、令和6年6月までに行政だけでなく、民間事業所も合理的配慮に取り組むことになる。理解促進の啓発が必要だが難しい面もある。</p> <p>③生活の自立の面で障害者の職業や就労は重要である。様々な就労の形態があると思うが、今ある事業や仕事の中に障害者が入っていける部分が増えると有難いと感じている</p> <p>3. 報告事項について</p> <p>(1) 令和4年度活動報告及び令和5年度活動計画(案)について(資料1、2、3) 今回の全体会より、各会議・部会の活動等を共有できるよう各部会皆で考え資料を工夫した。情報共有の1つとして活用していきたい。</p> <p>①令和4年度児玉郡市障害者自立支援協議会活動の全体像の報告(資料1、資料3参照) 資料3-1 課題の抽出と対応策の検討を中心に説明。</p> <p>②令和4年度の運営会議の活動報告および5年度の活動計画案について(資料1、資料3-2)</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の福祉資源など資源の把握及び情報の発信に関すること・課題の抽出と対応策の検討・地域の関係機関のネットワーク構築と相談支援体制の充実と強化に関すること <p>③令和4年度の相談支援部会の活動報告および5年度の活動計画案について(資料1、資料3-3)</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の福祉資源など資源の把握及び情報の発信に関すること・課題の抽出と対応策の検討・地域の関係機関のネットワーク構築と相談支援体制の充実と強化に関すること
---	--

<p>④就労支援部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 困難事例への支援のあり方に関する協議及び調整に関すること <p>④令和4年度の相談支援部会の活動報告および5年度の活動計画案について (資料1、資料3-4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の福祉資源など資源の把握及び情報の発信に関すること ・ 課題の抽出と対応策の検討 ・ 地域の関係機関のネットワーク構築と相談支援体制の充実と強化に関すること ・ 困難事例への支援のあり方に関する協議及び調整に関すること
<p>⑤質疑応答 委員 (事務局)</p>	<p>⑤ (質問)</p> <p>就労支援部会の説明で就労アセスメントを実施している就労支援事業所が現在2ヶ所とあったが、この地域で2ヶ所しかないという事か？</p> <p>就労移行支援を利用希望しても事業所が少ない事で利用できない、あふれる事はあるのかは？また、地域に事業所が少ない理由は金銭的に回収できないからか？</p> <p>(回答)</p> <p>児玉郡市内では就労移行支援事業所は2か所のみである。</p> <p>就労移行支援、就労継続支援、就労アセスメントについて説明をした。溢れてるといふ現状ではないと考えてる。</p>
<p>(2) 地域生活支援拠点等の整備方針(案)について</p>	<p>(2) 地域生活支援拠点等の整備方針(案)について 〈資料4〉</p> <p>11月に開催した自立支援協議会全体会で基幹相談支援センターの設置とあわせて地域生活支援拠点等の整備について整備手法を確認した。</p> <p>国の指針や各市町の計画では、令和5年度末を期限としている。令和4年12月に方針案をまとめ、運営会議、相談支援部会から意見を聞き取り、1月27日に郡内の事業所を対象に本事業の説明会を開催し意見聴取した。全体会からの意見があればその点を踏まえて設置方針を修正し正式なものとした。</p> <p>今年度中に市町で要綱およびガイドラインを策定し、令和5年5月に事業所からの届出を受理できるよう準備を進めていきたい。</p>
<p>(3) 2023ふくしまップについて</p>	<p>(3) 2023ふくしまップについて 〈資料5〉</p> <p>団体数、媒体の配布箇所について説明。来年度早々の配布を目標として調整中である。</p>
<p>(4) その他 ①運営会長より報告 ②委員より報告</p>	<p>(4) その他</p> <p>①令和5年1月19日に放課後等デイサービス事業所連絡会(10事業所が参加した)について実施した感想等について報告</p> <p>②放課後デイ等連絡会開催に尽力いただいた委員より、連絡会の報告及び障害児支援で感じていることについて</p>

<p>③質問A (委員)</p>	<p>事業所数の増加や需要が増加する中、支援が難しい児の受け入れについて、待・貧困・不登校など様々な問題が複雑に絡みあい困難な事例が増えている。各事業所独自に悩み考えているが、皆で集い情報交換や相談しあえる場となった。</p> <p>今後、対象児童が学校等を卒業した後の支援や地域連携について考える場に発展していけると良いと考えている。</p>
<p>質問Aの回答 (事務局)</p>	<p>③質問A</p> <p>当事者の親世代が高齢化して、親亡き後どうすればよいかという課題を感じる。HP等を見る事ができない保護者（高齢者）等に対しての周知について今後の課題になると考える。</p> <p><回答></p> <p>自立支援協議会でも周知方法について重点的に取り組んでいる。今後、周知方法等について注力する必要性があると感じている。市町村の場合には、広報誌で全戸配布する仕組みがある。広報誌や電子データ等組み合わせで案内していけるよう検討したい。</p> <p>基幹相談支援事業開始に合わせて、地域の相談支援体制の役割と活用について改めて周知を行うこととして検討したい。</p> <p>周知方法について各部会と行政で検討していく。各部会でもよく検討していただき地域へ向けた発信方法等について次回の全体会等々で説明していきたいと考えている。</p>
<p>④質問B (委員)</p> <p>質問Aの回答 (委員)</p>	<p>④質問B</p> <p>ふくしまップについて、事業所が121団体あると話があったがまとめられるのか？また、全団体にフィードバックできるのか？</p> <p><回答></p> <p>ふくしまップについては、登録していただいたものを地域の方に利用しやすいように作成し、分担して配布している。市町のHPに載せているため、実際に利用者、現場等で活用していただいていると感じている。</p> <p>協議会の活動もしくは郡内の課題や取り組みについても共有できるよう検討したいと考える。</p>
<p>⑤次回の予定</p>	<p>⑤次回は令和5年6月頃に開催予定</p>
<p>4. 閉会</p>	<p>4. 閉会（副会長）</p> <p>今回の資料はかなりしっかりしたものが提出されており、令和4年度の活動内容について非常によくわかる内容であった。</p> <p>課題としてネットワークの強化についてどの部会からも出ていたと思う。まずは地域づくりやコミュニケーションを各事業所間にとる事がまず第一歩であると考えている。</p>